

豊山町における公共交通の現状

1. はじめに

わが国では、急速な少子高齢化の進行に伴い、地域・都市構造が大きく変化しています。その中で、地域住民の生活交通の確保が大きな課題となり、地域の公共輸送サービスに対するニーズの多様化、高度化に的確に対応した、安全・安心な輸送サービスの確実な提供を促進することが市町村に求められています。

本町においても、平成14年9月の名鉄バス名犬バイパス線の撤退に伴い、地域の公共交通を充実させてほしいという住民からの要望を受け、同年10月から、小牧市役所方面から町内を経て、名古屋方面とをつなぐ、「とよやまタウンバス」の運行をはじめました。当初は1路線のみの運行でしたが、平成18年10月には、2路線への分割と延長、名古屋栄をはじめとした新規バス停の設置、ダイヤの改正などを行いました。

平成19年度には改正道路運送法に基づく地域公共交通会議を設置し、その協議結果に基づいて、平成20年4月に、とよやまタウンバス南ルートに1時間に1本の運行の確保、社会教育センターと青塚古墳西などの新規バス停の追加などを行い、名鉄バスに社会教育センターや新田に新しいバス停を設置していただくなど、町内を走る民営のバス路線との連携の取り組みを行ってきました。また、町内のすべての公共交通機関を網羅した豊山町公共交通マップの作成などを行いました。

今回の地域公共交通会議では、あらためて行った利用者動向やアンケートの結果に加え、昨年度の会議で懸案として挙げられていた、エアポートウォーク名古屋の開店の地域交通に対する影響や、住民からの要望などを勘案しながら、より住民のニーズにマッチした公共交通を目指した協議が期待されます。

(これまでの主な経緯)

平成13年	8月	名鉄バスが国道41号線を運行する名犬バイパス線の廃止、縮小を届出
平成14年	9月	上記路線の廃止、縮小
平成14年	10月	とよやまタウンバス運行開始（試行運行）
平成15年	4月	とよやまタウンバスのダイヤおよび路線の一部修正
平成17年	2月	名古屋空港主要機能が移転・あおい交通名古屋空港直行バス運行開始
平成17年	5月	豊山町公共交通検討会議開催
平成18年	2月	検討会議より「豊山町の公共交通に関する検討結果と提言」を受ける
平成18年	10月	とよやまタウンバスの南北ルートへの分割、停留所の新設などを実施
平成19年	7月	平成19年度豊山町地域公共交通会議開催（会議3回 幹事会4回）
平成20年	3月	名鉄バスが空港・勝川線を廃止
平成20年	4月	とよやまタウンバスの便数・停留所の新設などを実施、あわせて名鉄バス空港・西春線も停留所新設、豊山町公共交通マップの発行
平成20年	10月	エアポートウォーク名古屋の開店にあわせて、あおい交通名古屋空港直行バスと名鉄バス西春・空港線が停留所の新設
平成20年	11月	あおい交通名古屋空港直行バスが味美・勝川へ延長
平成20年	12月	公共交通マップの増刷・平成20年度豊山町地域公共交通会議開催
平成21年	5月	とよやまタウンバス南ルートに両替機設置

2. 豊山町の概況および、人口

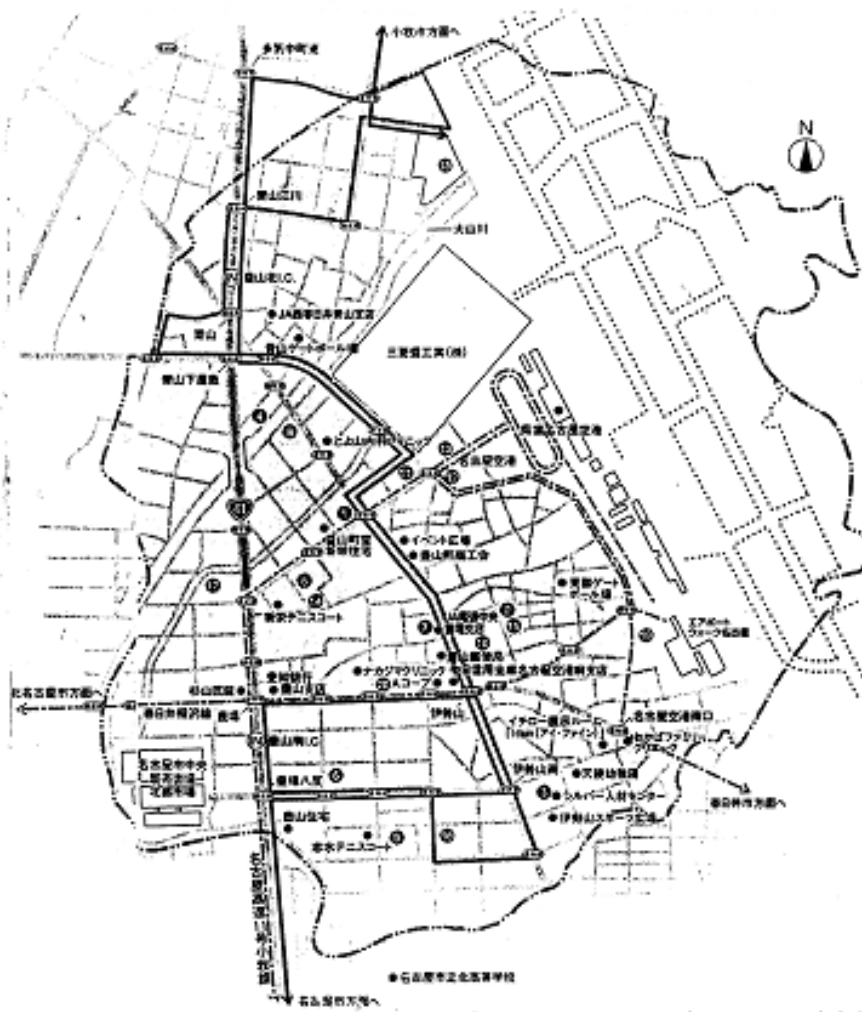
ア. 概況

豊山町は名古屋市北部に位置し、面積は約6平方キロメートル、そのうち約3分の1が県営名古屋空港関連の敷地で占められています。残りの3分の2の大半は住宅地および農地です。

町の西部を国道41号線が縦断し、南部を県道春日井・稲沢線が横断しています。また、北部の一部を大山川が横断しています。

周囲を小牧市、春日井市、名古屋市などの大きな市に囲まれ、それらのベッドタウンとして機能している一方で、古くから住んでいる人たちのコミュニティも残っています。

町内の大規模施設は、県営名古屋空港と名古屋市北部市場中央卸売市場の2つです。大規模商業施設はありませんでしたが、平成20年10月に旧名古屋空港国際線ターミナル跡地に大型商業施設、エアポートウォーク名古屋が開店し、新しい賑わいを見せています。また、名古屋空港を中心とした、航空宇宙産業の集積も期待されています。



主な公共用施設一覧

豊山町役場
① 保健センター
② 地域包括支援センター
③ 総合福祉センターしほの木
④ 総合福祉センターしほの木
⑤ 総合福祉センター南郷ひまわり
⑥ 豊山町立図書館
⑦ 豊山町立図書館
⑧ 豊山町立図書館
⑨ 豊山町立図書館
⑩ 豊山町立図書館
⑪ 豊山町立図書館
⑫ 豊山町立図書館
⑬ 豊山町立図書館
⑭ 豊山町立図書館
⑮ 豊山町立図書館
⑯ 豊山町立図書館
⑰ 豊山町立図書館
⑱ 豊山町立図書館
⑲ 豊山町立図書館
⑳ 豊山町立図書館
㉑ 豊山町立図書館
㉒ 豊山町立図書館
㉓ 豊山町立図書館
㉔ 豊山町立図書館
㉕ 豊山町立図書館
㉖ 豊山町立図書館
㉗ 豊山町立図書館
㉘ 豊山町立図書館
㉙ 豊山町立図書館
㉚ 豊山町立図書館
㉛ 豊山町立図書館
㉜ 豊山町立図書館
㉝ 豊山町立図書館
㉞ 豊山町立図書館
㉟ 豊山町立図書館
㊱ 豊山町立図書館
㊲ 豊山町立図書館
㊳ 豊山町立図書館
㊴ 豊山町立図書館
㊵ 豊山町立図書館
㊶ 豊山町立図書館
㊷ 豊山町立図書館
㊸ 豊山町立図書館
㊹ 豊山町立図書館
㊺ 豊山町立図書館
㊻ 豊山町立図書館
㊼ 豊山町立図書館
㊽ 豊山町立図書館
㊾ 豊山町立図書館
㊿ 豊山町立図書館

イ. 人口・世帯

平成21年10月1日現在、豊山町の総人口は14,567人（男性：7,469人 女性：7,098人）で、総世帯数は5,798戸です。空港の主要機能移転で一時期人口がやや減少しましたが、その後、集合住宅や一戸建ての建設が続き、人口が増加する傾向が続いています。人口は、主に豊山町の中央部から南部にかけて集中しています。

豊山町の人口・世帯数の推移

区分		年次		平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
総人口				13,213	13,513	13,001	13,565	13,746	13,987	14,163
性別	男性			6,715	6,899	6,618	6,907	6,826	7,159	7,265
	女性			6,498	6,614	6,383	6,658	6,547	6,828	6,898
人口構成	年少人口			2,602	2,215	1,991	2,057	2,058	2,073	2,128
	生産年齢人口			9,660	10,090	9,475	9,429	9,515	9,571	9,570
	老年人口			951	1,208	1,535	2,079	2,173	2,343	2,465
世帯数				4,054	4,522	4,695	5,144	5,214	5,398	5,546
1世帯あたり人数				3.26	2.99	2.77	2.64	2.64	2.59	2.55

(H17以前は国勢調査より H18以降は住民基本台帳に基づく)

豊山町の字別の人口・世帯数

字名	世帯数	人口	字名	世帯数	人口	字名	世帯数	人口
青塚屋敷	59	185	大門	107	314	山方	2	4
伊勢山	175	435	高畑	42	99	四ツ塚	62	152
大山	33	89	鳥居前	5	9	若宮	181	405
下戸	394	1105	殿釜	16	27	和合	126	313
木戸	28	85	中之町	194	568	無番地	1	3
幸田	52	135	中道	32	89	江川	59	130
小道	20	20	流川	239	444	北浦	6	20
神戸	201	494	中新田	13	40	北深田	2	3
栄	128	267	中之道	8	31	金剛	153	373
沢口	15	17	西之町	89	277	神明	38	111
志水	724	1829	幟立	9	13	高添	56	137
新田町	255	653	野田	239	586	東栄	245	586
城屋敷	64	168	八反	1	1	東川	116	225
四面堂	3	6	林先	22	32	松張	6	19
新栄	251	602	東古諏訪	3	7	六和	32	75
諏訪	380	921	富士	330	770	青山	353	1104
高前	178	450	堀之内	27	77			
多門寺	11	34	前池	12	28			

(H21年4月1日現在 住民基本台帳に基づく)

3. 豊山町住民の移動実態

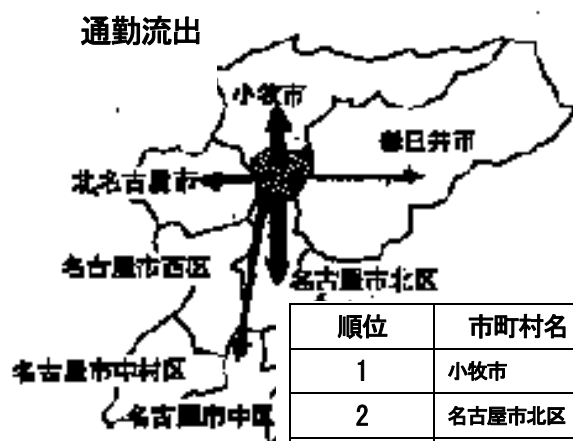
ア. 通勤・通学

豊山町からの通勤流出は小牧市が最も多く、ついで、名古屋市北区、春日井市の順です。

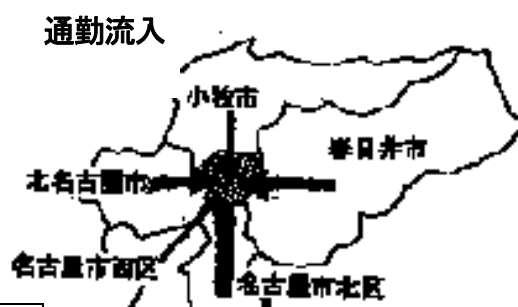
逆に、豊山町への通勤流入は、名古屋市北区からが最も多く、ついで、北名古屋市と春日井市からです。

豊山町からの通学流出は、小牧市が最も多く、ついで、名古屋市千種区、西区などの学校が多い地域となっています。

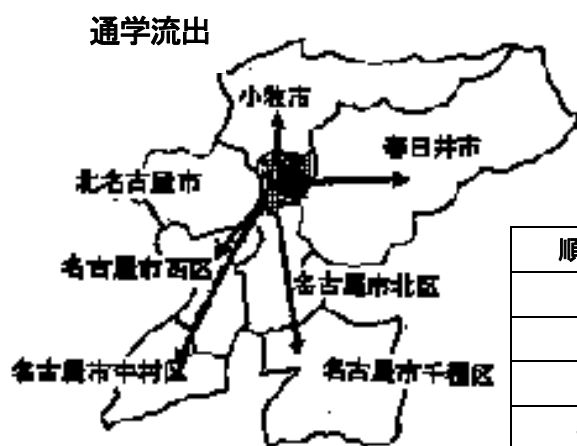
なお、通学流入については豊山町には高校や大学がないため、省略しました。



順位	市町村名	人数
1	小牧市	771
2	名古屋市北区	720
3	春日井市	494
4	名古屋市中区	400
5	北名古屋市	372



順位	市町村名	人数
1	名古屋市北区	1059
2	北名古屋市	975
3	春日井市	873
4	小牧市	741
5	名古屋市西区	402



順位	市町村名	人数
1	小牧市	50
2	名古屋市千種区	43
3	名古屋市西区	38
4	春日井市	37
5	名古屋市中村区	37

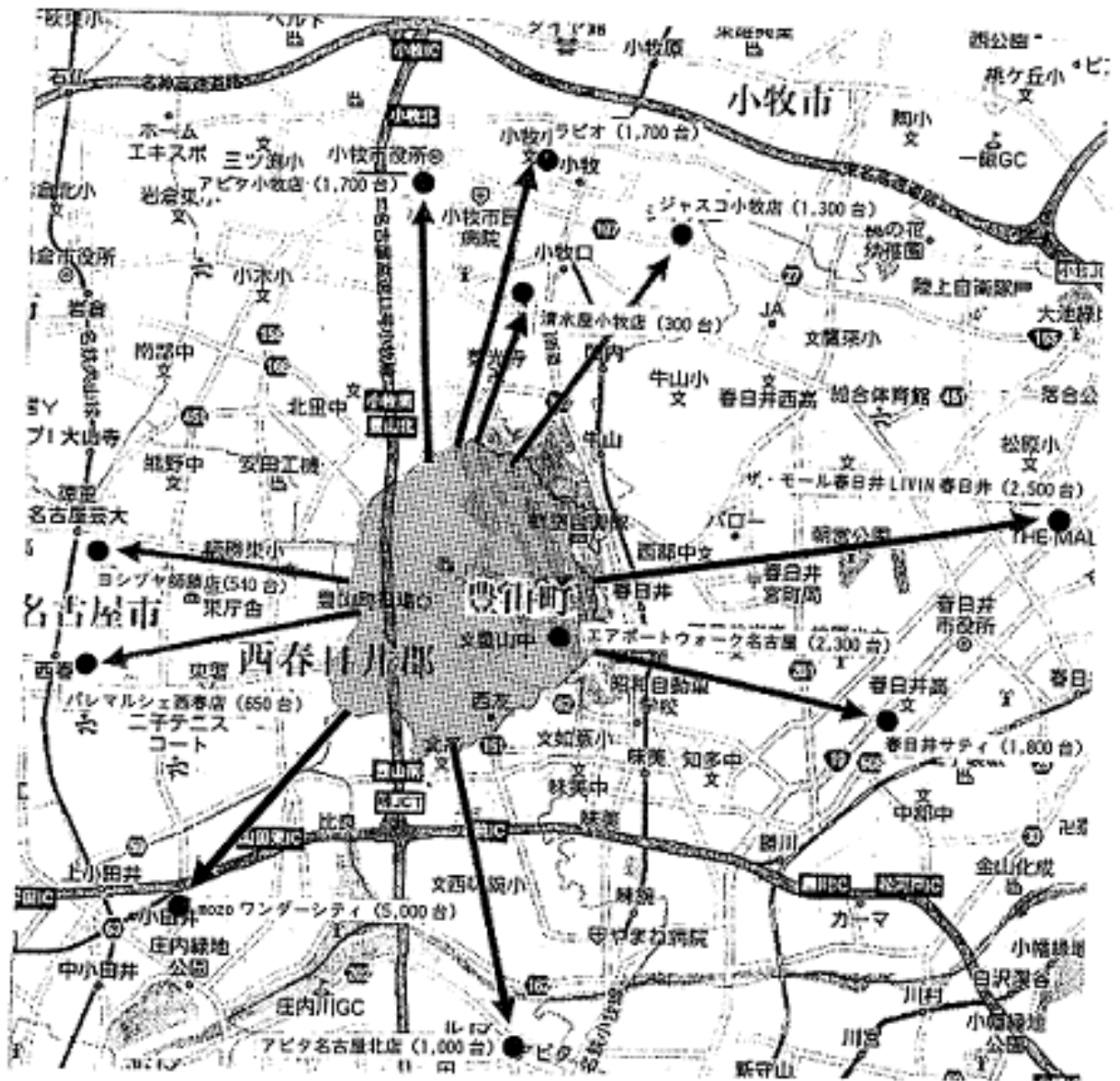
(いずれもH17国勢調査より)

イ. 買い物

豊山町には、西友、Aコープなどの食料品を中心とした中規模のスーパーがあるものの、大型商業施設はありませんでしたが、平成20年10月25日に、名古屋空港の旧国際線ビル跡地に大型商業施設「エアポートウォーク名古屋」が開店し、従業員の通勤、利用者の流入など、豊山町にこれまでになかった人の動きが生まれつつあるとともに、新しい賑わいの場所として注目されています。

本町周辺の大型商業施設には小牧市のジャスコ、アピタ、ラピオ、清水屋、北名古屋市のパレマルシェ西春、ヨシヅヤ、春日井市の春日井サティやリヴィン、北区のアピタ名古屋北店などがあります。また平成21年4月に上小田井にモゾ・ワンダーシティが開店しました。

() 内の数字は駐車場の駐車可能台数です。

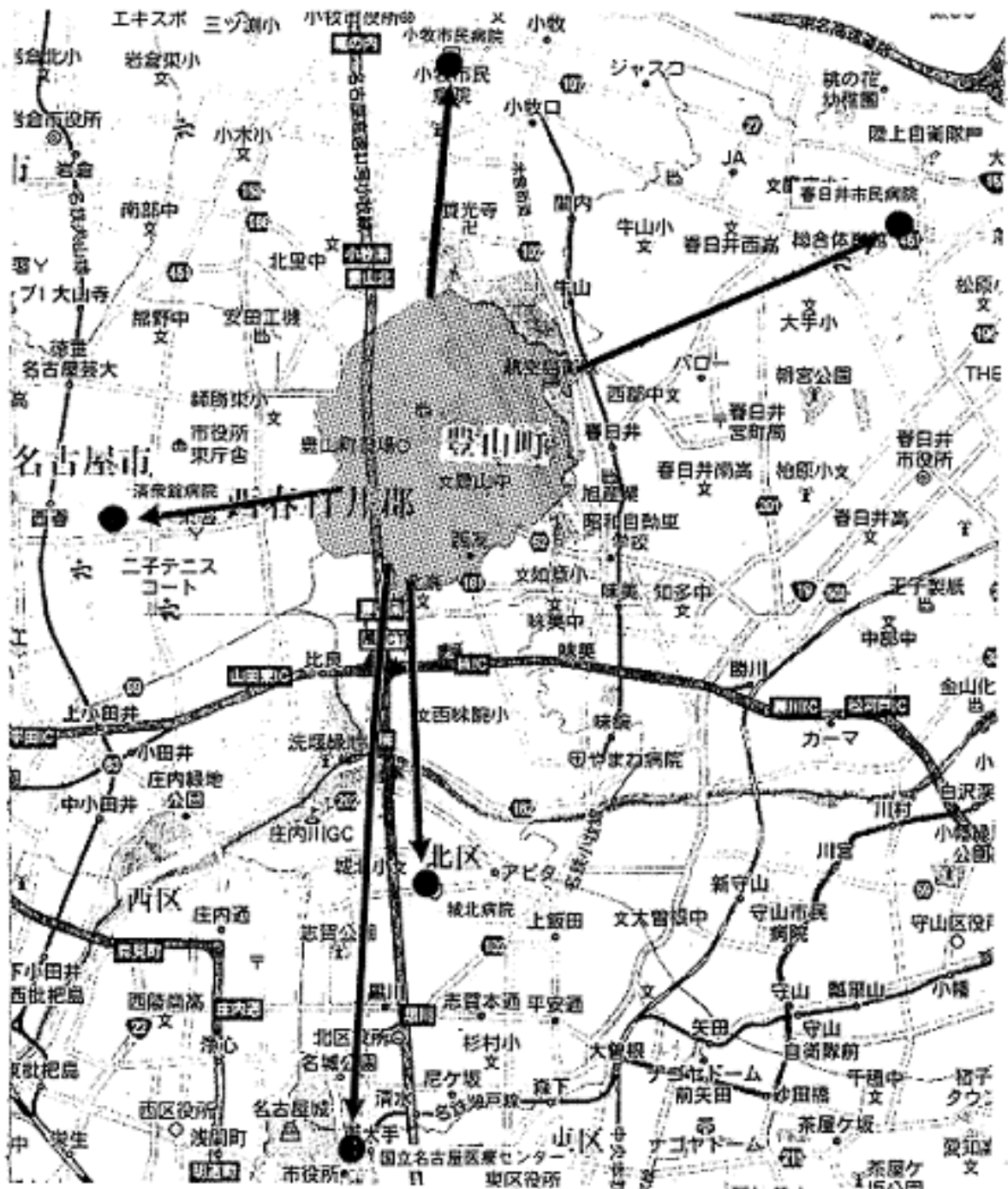


ウ. 病院

豊山町内には内科を中心とした医院や歯科はありますが、総合病院はありません。小牧市の小牧市民病院がもっとも近い総合病院で、通院者も多くあり、とよやまタウンバスの北ルートが乗り入れをしています。

そのほか、春日井市の春日井市民病院、北名古屋市の済衆館病院、名古屋市北区の城北病院、中区の国立名古屋医療センターなどが利用されています。

北名古屋市の済衆館病院へは名鉄バス西春・空港線の「師勝保健所東」のバス停が最寄りにあります。また、国立名古屋医療センターはタウンバス南ルート「愛知県庁前」停留所が最寄りにあります。



4. 豊山町を取り巻く交通環境

(1) 道路

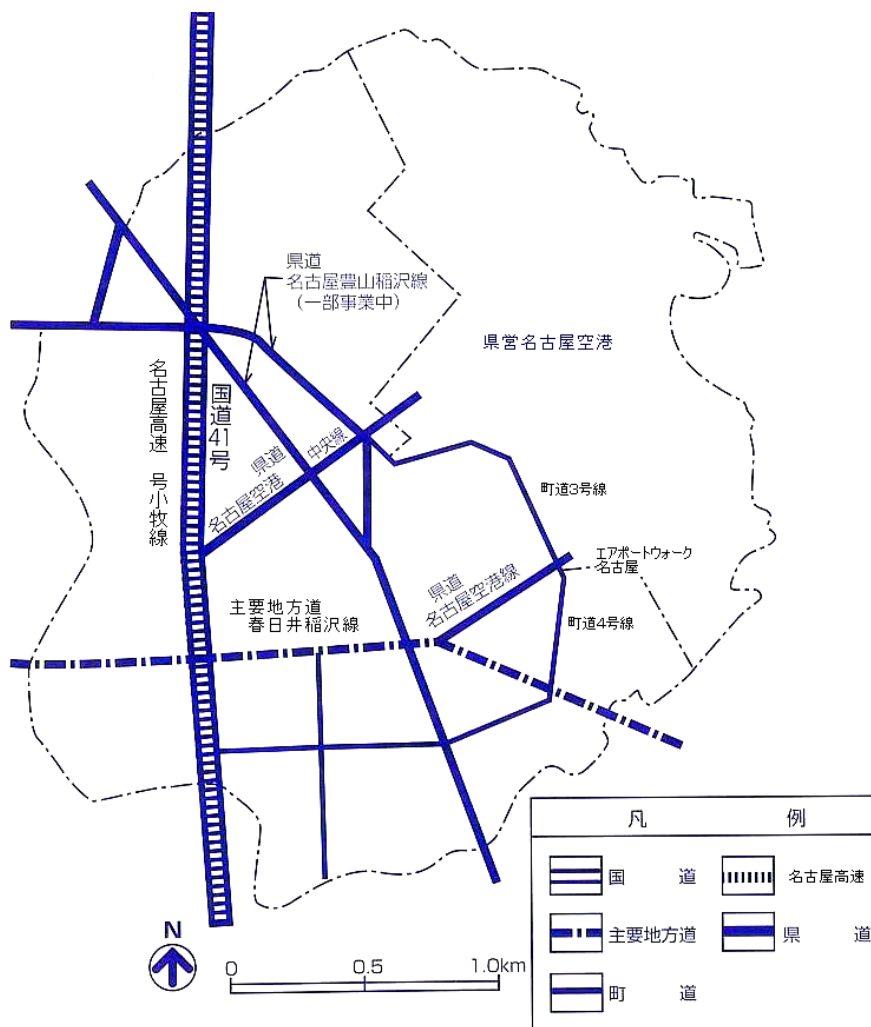
豊山町は南北を国道41号線が縦断し、東西を県道春日井稲沢線が横断しています。

国道41号線には名古屋市高速道路11号小牧線があり、豊山南IC、豊山北ICがあります。また、町外では南部に東名阪自動車道が走り、楠IC、山田東IC、楠出入口などがあり、名古屋高速道路は北部の小牧市で東名高速道路や中央自動車道に接続するなど、名古屋市の北部の交通の要所のひとつでもあります。

地域内のその他の道路は、全体的に狭隘な道が多く、大型のバスがスムーズに運行できる道も限られています。

エアポートウォーク名古屋の開店時に発生していた渋滞は、現在は緩和されていますが、一部に混雑が見られる場合があります。通勤・帰宅時間時に国道41号線の豊場交差点付近が混雑する以外は、町内で渋滞が頻繁に発生する箇所はありません。

道路網図



(2) 鉄軌道

町内には鉄軌道路線・駅はありません。

町の西部の北名古屋市に名鉄犬山線が、東部の春日井市に名鉄小牧線とJR中央本線が走り、名古屋方面や名古屋市北部、岐阜方面などを結んでいます。

①名鉄犬山線

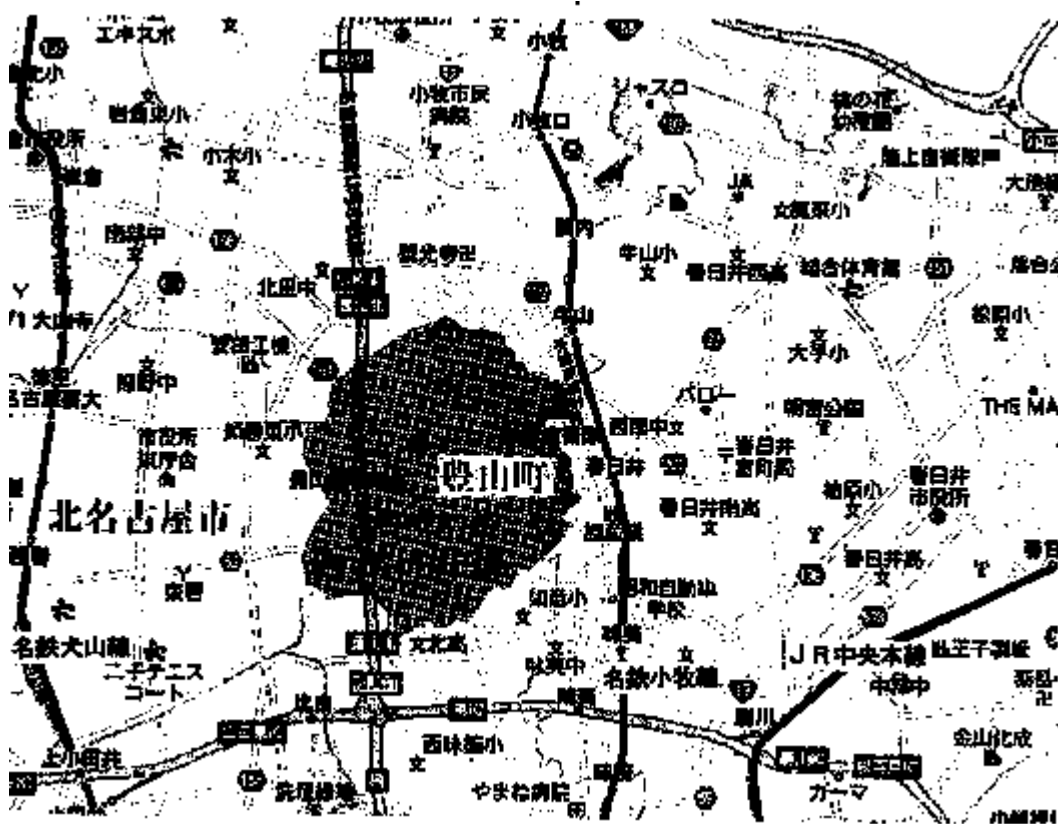
- ・最寄の駅は北名古屋市の西春駅で、江南市、犬山市、名古屋駅などと接続しています。
- ・町内からは名鉄バス西春・空港線（1時間に平均2～3本）が往復しています。

②名鉄小牧線

- ・最寄の駅は味美駅で、小牧市、犬山市へ、南部は名古屋市（平安通駅）などと接続しています。
- ・平成20年3月末に県営名古屋空港と勝川駅を結ぶ名鉄バスの勝川・名古屋空港線が廃止されましたが、エアポートウォーク名古屋の開店に伴い、平成20年11月にあおい交通の名古屋空港直行バスの路線が延長され、味美駅へ乗り入れを始めました。

③JR中央本線

- ・最寄の駅は勝川駅で、岐阜県方面や名古屋市の北部へ接続し、名古屋駅へと至ります。
- ・名鉄小牧線と同様、名鉄バスの勝川・名古屋空港線が廃止されましたが、あおい交通の名古屋空港直行バスの一部が勝川駅へ乗り入れを始めました。



(3) 豊山町のバス交通

(資料1)

本町に係るバス路線には、とよやまタウンバス、あおい交通の名古屋空港直行バス、名鉄バスの西春・空港線、名古屋市の市営バスがあります。

①名鉄バス

県営名古屋空港と、北名古屋市の西春駅とを結ぶ西春・空港線が運行されています。最近では空港利用者よりも沿線住民が主たる利用者となっていて、生活路線としても使われています。

平成20年の10月下旬に新しく開店したエアポートウォーク名古屋に「エアポートウォーク名古屋」バス停を新しく設置しました。

西春・空港線

経由地	名鉄西春駅 ⇄ (北名古屋市) ⇄ 北部市場北 ⇄ 西豊場 ⇄ 伊勢山西 ⇄ 空港西 ⇄ エアポートウォーク名古屋 ⇄ 中新田 ⇄ 豊山町社会教育センター ⇄ 県営名古屋空港
運賃	330円 (西春駅 ⇄ 名古屋空港)

○利用者数

(資料2)

平成19年度		平成20年度	
年間利用者数	一日平均利用者数	年間利用者数	一日平均利用者数
415,453人	637人	462,657人	745人

- 平成20年4月から、「中新田」と「豊山町社会教育センター」バス停が増設されたのに加えて、10月から「エアポートウォーク」バス停が新設され、平成19年度から20年度にかけて、年間利用者数、一日平均利用者数ともに、1.2倍程度増加しています。
- 停留所別では、「豊山町社会教育センター」バス停が増加の傾向にあり、「名古屋空港」が減少の傾向にあります。

○利用実態調査

(資料3)

本町では、西春・空港線の利用者に対して、使用したバス停や移動の目的などの利用実態調査と、バス運行に対する要望などのアンケートを行いました(同様の調査を平成20年7月にも行っています)。

- 調査期間 平成21年7月7日(火)～20(月)
- 調査対象 名鉄バス 西春・空港線の利用者
- 調査方法 バス内にアンケート用紙を設置し、記入していただき、降車時に回収
- 回答数 61件

*利用の傾向

- 男性は40代、50代の通勤利用者が多く、女性は年代ごとのばらつきはなく、買い物利用が中心となっています。
- 平成20年度よりも、豊山町の利用者が10%増加しています。
- 平成20年度よりも、買い物目的の利用者が6%増加しています。
- 平成20年度よりも、名古屋空港直行バスの認知度、利用度が大幅に増加しています。

＊要望や意見

- ・便数の増加、鉄道との接続をスムーズにしてほしいという要望が目立ちました。
- ・停留所の増設は、「杉山医院」（豊山町）、「Aコープ前」への要望がありました。
- ・平成20年度に比べて、運賃を「高い」と感じる人が2倍になりました。
- ・運転手の対応の向上や車内設備に関する要望がありました。

②名古屋空港直行バス（あおい交通）

県営名古屋空港と名古屋駅を直通で結びます。栄にもバス停を設置（降車専用）したこと、名古屋駅周辺が商業地域として注目されていることなどから、空港利用者以外の利用者が増えています。

エアポートウォーク名古屋の開店にあわせて、県営名古屋空港とエアポートウォーク名古屋の境に「エアポートウォーク北」バス停を設置し、一部の便が味美駅や勝川駅にアクセスし、従来は降車専用だった豊山町役場前の「豊山」停留所から乗車もできるようになり、結果的に平成20年度末に廃止された名鉄バス勝川・空港線の代替も果たしています。

経 由 地	ミッドランドスクエア前 ⇄ 名古屋栄 ⇄ 豊山 ⇄ 名古屋空港 ⇄ エアポートウォーク北 ⇄ 味美 ⇄ 勝川駅
運 賃	700円（豊山 ⇄ 名駅）

- ・時刻表は航空機のダイヤに接続するように作られているため、定期的に改訂されます。
- ・名古屋駅行きは「名古屋栄」で降車できます。ただし、乗車はできません。
- ・名古屋空港行きの一部は、「エアポートウォーク北」止まりです。

○利用者数

（資料4）

平成19年度		平成20年度	
年間利用者数	一日平均利用者数	年間利用者数	一日平均利用者数
126,649人	346人	189,541人	519人

- ・平成20年10月に、「エアポートウォーク北」、11月に「味美」、「勝川」のバス停を新設し、利用者を増やしました。
- ・平成19年度から20年度にかけて、年間利用者数、一日平均利用者数ともに、1.5倍程度増加しました。

③名古屋市バス

黒川11系統が黒川から、北部市場に乗り入れています。また、豊山町の南に幹栄1の系統があり、黒川を経由し、栄まで走っています。いずれも国道41号線を経由しています。

黒川11

経 由 地	如意車庫前・北部市場 ⇄ 黒川
運 賃	200円

- ・名古屋市北部を国道41号線を経由して走ります。
- ・朝7時台をピークに、1時間に2本以上を確保しています。
- ・豊山町内には「北部市場」のバス停があり、時間に1本弱運行しています。

○北部市場バス停利用者数（1日の乗降者数平均）

	平日		土曜日		日曜日・祝日	
	H19	H20	H19	H20	H19	H20
乗車人数	40人	40人	20人	20人	20人	10人
降車人数	90人	90人	30人	50人	40人	30人

（名古屋市交通政策室調べ）

- ・利用者数の大きな変化はありません。

幹栄1

経 由 地	如意住宅・水分橋 ⇄ 黒川 ⇄ 栄
運 賃	200円

- ・名古屋市中心部と名古屋市北部を国道41号線を経由してつなぐ幹線バスです。
- ・朝7時、8時台をピークに、1時間に4～5本を確保しています。
- ・豊山町内にバス停はありません。

【分 析】

黒川11系統は北部市場の利用者だけではなく、地域住民も利用しています。幹栄1系統は、通勤や通学に利用されています。

④とよやまタウンバス

あおい交通が運行し、運行費用の不足分を豊山町が補助しています。平成14年10月より運行をはじめ、平成18年度、平成20年度に大きな改正を行っています。

（平成14年10月～18年9月）

経 由 地	小牧市役所 ⇄ 小牧市民病院 ⇄ 武道館北 ⇄ 青山江川 ⇄ 青山東 ⇄ 豊山町役場 ⇄ 商工会前 ⇄ 豊山中学校 ⇄ 伊勢山 ⇄ 伊勢山南 ⇄ 青塚山前 ⇄ 市場東 ⇄ 黒川 ⇄ 県庁前
運 賃	100円～500円（1枚200円の町民乗車券あり）

- ・小牧市役所から愛知県庁前までの1路線でした（現在は2路線）。
- ・町民乗車券による割引制度がありました（平成18年9月末で廃止）。

（平成18年10月～20年3月）

北ルート

経 由 地	小牧市役所前 ⇄ 小牧市民病院 ⇄ 小牧市武道館北 ⇄ 航空館 boon ⇄ 八剣神社 ⇄ 青山江川 ⇄ 日吉神社 ⇄ 青山高添 ⇄ 青山東栄 ⇄ 豊山町役場 ⇄ 豊山町商工会 ⇄ 豊山中学校 ⇄ 伊勢山西 ⇄ 西豊場 ⇄ 北部市場東
運 賃	100円～500円（回数券あり）

南ルート

経 由 地	航空館 boon ⇄ 青山江川 ⇄ 青山東栄 ⇄ 豊山町役場 ⇄ 豊山町商工会 ⇄ 豊山中学校 ⇄ 伊勢山 ⇄ 伊勢山南 ⇄ 青塚古墳前 ⇄ 北部市場東 ⇄ 黒川 ⇄ 愛知県庁前 ⇄ 名古屋栄
運 賃	100円～500円（回数券あり）

- ・利用実態にあわせて、単一ルートを2つのルートに分割しました。
- ・日曜祝日も運行するようにしました。
- ・北ルートに小型の車両を導入し、南ルートは従来のマイクロバス2台で運行しました。
- ・南ルートは名古屋栄まで乗り入れました。
- ・運賃の改正を行い、町民乗車券を廃止しました。
- ・バス停や運行本数を増やしました。

(平成20年4月～現在)

北ルート

経 由 地	小牧市役所前 ⇄ 小牧市民病院 ⇄ 小牧市武道館北 ⇄ 航空館 boon ⇄ 八剣神社 ⇄ 青山江川 ⇄ 日吉神社 ⇄ 青山高添 ⇄ 青山東栄 ⇄ 豊山町社会教育センター ⇄ 豊山町役場 ⇄ 豊山町商工会 ⇄ 豊山中学校 ⇄ 伊勢山西 ⇄ 西豊場 ⇄ 北部市場東 ⇄ 青塚古墳西 ⇄ 志水小学校 ⇄ 神戸 ⇄ 伊勢山南 ⇄ 伊勢山 ⇄ 豊山中学校
運 賃	100円～500円 (回数券あり)

南ルート

経 由 地	航空館 boon ⇄ 青山江川 ⇄ 青山東栄 ⇄ 豊山町社会教育センター ⇄ 豊山町役場 ⇄ 豊山町商工会 ⇄ 豊山中学校 ⇄ 伊勢山 ⇄ 伊勢山南 ⇄ 青塚古墳前 ⇄ 北部市場東 ⇄ 黒川 ⇄ 愛知県庁前 ⇄ 名古屋栄
運 賃	100円～500円 (回数券あり)

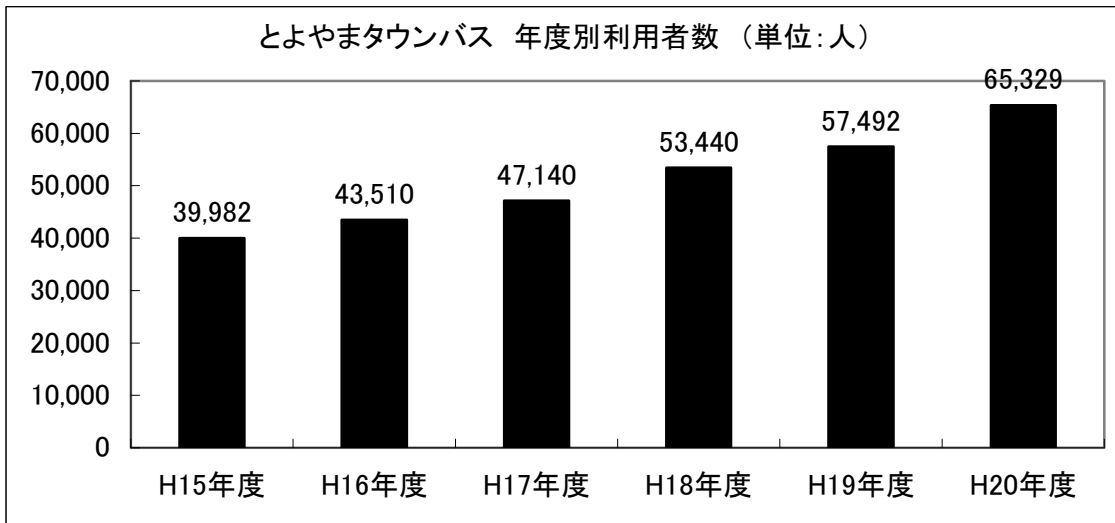
- ・南ルートは1時間に1本のダイヤを確保しました。北ルートは小牧市民病院への通院にできるだけ便利のようにダイヤを組み替えました。
- ・社会教育センターに南北ルート、青塚古墳付近へ北ルートのバス停を設置しました。
- ・乗降の障害となる縁石がある場合は可能なかぎり撤去し、北ルートのバスに停車ブザーをつけるなど、バス停や車両のアメニティに配慮しました。
- ・南ルートのバスに両替機を設置しました (平成21年5月)。

(4) とよやまタウンバスの利用状況

(資料5)

とよやまタウンバスの利用状況について概観します。

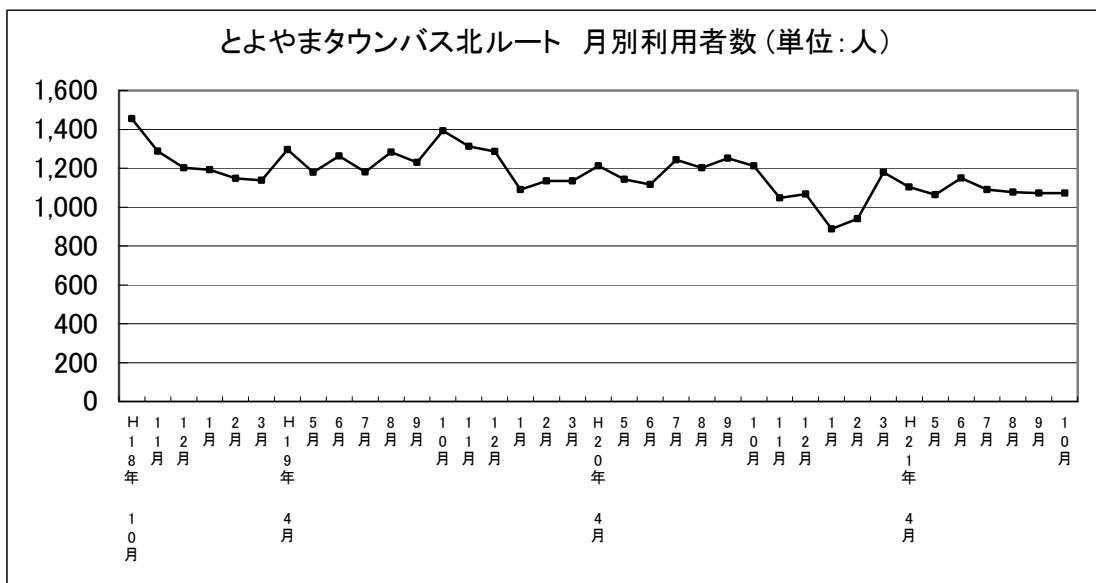
①タウンバス全体の利用者の推移

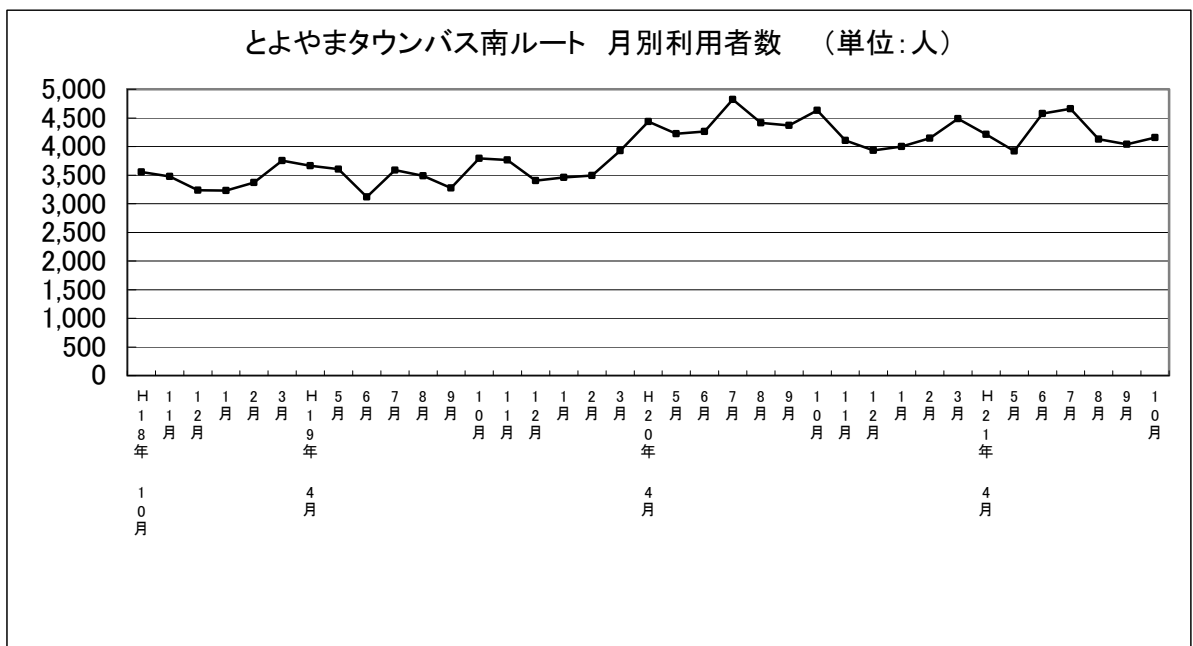


【傾向と分析】

- ・運行開始以降、毎年利用者数は上昇しています。

②ルート別の乗客数の推移





【傾向と分析】

- ・南ルートについては、季節による波はありますが、順調に増加しています。とくに平成20年度4月の改正以降は増加が大きくなっています。
- ・北ルートについては、平成19年の10月をピークに、やや減少の傾向があります。

③ルート別の利用者傾向と分析

○北ルート

(資料6)

【傾向】

(平日)

- ・「小牧市民病院」での乗降が最も多く、ついで「小牧市役所前」の乗車が目立ちます。「小牧市民病院」で降りて、「小牧市役所前」から乗る方が多いと思われます。
- ・町内のバス停では「豊山中学校」、「北部市場東」バス停の利用が多くなっています。
- ・便別では、3便(9:28)が最も多く、午後の9便(17:33)と10便(18:50)では急激に少なくなります。

(休日)

- ・乗車は「小牧市民病院」が最も多いですが、降車は「小牧市役所」が目立ちます。
- ・町内のバス停では「神戸」、「志水小学校」、「青山高添」などの利用が目立ちます。
- ・便別では、朝の第1便(9:00)が多く、午後になるにつれて減少し、夕方になると微増します。

【分析】

- ・これまでと同様に、小牧市民病院への通院のための利用者が大勢を占めると考えられます。
- ・休日の利用者が20年の12月ごろから顕著に減り、現在は平日の利用者の3割前後です。

○南ルート平日

(資料7)

【傾向】

(平日 豊山→名古屋市方面)

- ・昨年同様、「北部市場東」から乗る人が最も多く、ついで「豊山中学校」、「青山東栄」です。降車地は「名古屋栄」、「黒川」、「愛知県庁前」で、全体の97%を占めます。
- ・便別では早朝の第2便(7:20発)が最も多く、午後になるに従って減少し、夕方に微増します。

(平日 名古屋市→豊山方面)

- ・昨年同様、町内からの乗車はほとんどなく、乗車地は多い方から「名古屋栄」、「黒川」、「愛知県庁前」の順になっています。降車地は「北部市場東」が最も多く、ついで、「豊山中学校」、「青山東栄」へと続きます。昨年度に比べ、「青山東栄」の利用者が増加したのが目立ちます。
- ・便別では午後便が多く、とくに第9便(15:30発)、第12便(18:30発)の利用が多くなっています。

【分析】

- ・停留所別の乗降傾向は昨年度と同じく、「北部市場東」から乗り、名古屋市のいずれかの停留所で降りるというものです。
- ・午後の第9便は買い物利用者の帰りのために多く、午後の12便は通勤利用者のために多いと思われます。

○南ルート休日

(資料8)

【傾向】

(豊山→名古屋方面)

- ・乗車については、平日とあまり変わりません。
- ・降車については、「愛知県庁前」や「黒川」の利用が減り、「名古屋栄」の利用者が増加します。
- ・便別では、第1便(9:13発)が最も多いです。昨年度よりも、第5便(13:43発)や第6便(14:43発)の利用が目立ちます。

(名古屋→豊山方面)

- ・乗車については、平日と同様に「名古屋栄」の利用が最も多いですが、「黒川」の利用者が平日に比べて増加するのが目立ちます。「愛知県庁前」は減少します。
- ・降車については、「北部市場東」の利用者が最も多く、ついで「黒川」が目立ちます。
- ・便別では正午の3便(12:00発)の利用が最も多く、午後からは第6便(15:30発)や、第7便(16:30発)、第8便(17:30発)の便も目立ちます。

【分析】

- ・停留所別では、これまでと同様、乗車は「名古屋栄」、降車は「北部市場東」が多いです。
- ・便別では、昨年度に比べて第3便(12:00)で名古屋から豊山町へ行くという傾向が目立ちます。

○とよやまタウンバス利用状況調査

(資料9)

前述の名鉄バス西春・空港線と同様、とよやまタウンバスでも利用状況調査とアンケートを行いました。

- ・調査期間 平成21年7月7日(火)～20日(月)の2週間
- ・調査対象 とよやまタウンバスの利用者(北ルート、南ルートとも)
- ・調査方法 バス内にアンケート用紙を設置し、記入していただき、降車時に回収
- ・回答数 166件

*利用者の傾向

- ・女性の利用者が8割近くで、とくに60代以上が多いです。
- ・買い物目的が最も多く、ついで通院です。
- ・利用者の70%が豊山町民です。
- ・北ルートは「小牧市民病院」、南ルートは「名古屋栄」の利用が最も多いです。
- ・運賃については、「適当」もしくは「安い」と思われています。

*要望や意見

- ・最も多かった要望は、便数の増加でした。ついで、休日の朝、夜の便の増便の要望が目立ちました。
- ・新規のバス停設置で希望が多かったのが、エアポートウォーク名古屋でした。その他に、町内でのバス停設置の目立った要望はありませんでした。

(5) とよやまタウンバスの運賃

タウンバスの運賃は地域の既存のバス会社（名鉄バス）などの運賃表を参考にして、地域におけるバランスや上限運賃を尊重して設定しています。

- ・豊山町内の移動は北ルート、南ルートともに100円で行っています。
- ・回数券を町内各所で発売しています。
- ・利用者の80%から、「適当」もしくは「安い」という評価を得ています。

(6) とよやまタウンバスの運行経費

- ・運行経費を算出して契約し、経費から運賃収入を差し引き、あおい交通への収入を差し引いた欠損を、全額町が負担しています。

年度別の運行経費の推移

年度	乗客数 (単位：人)	町負担金 (単位：万円)	乗客1人あたりの経費(単位：円)
14	16,660	776	465.8
15	39,982	1,280	320.1
16	43,510	1,375	316.0
17	47,140	1,321	280.2
18	53,440	1,934	361.9
19	57,492	2,707	470.8
20	65,329	2,951	451.7

(7) 豊山町公共交通マップの作成

公共交通マップは平成20年4月に初めて配布しました。その後、エアポートウォーク名古屋開店に関連した停留所の増設やダイヤ変更があったことから、平成21年4月1日に公共交通マップの更新・再版を行いました。あわせて、町ホームページも更新しました。

公共交通マップは、関係したバスの車内、豊山町役場をはじめとした公共施設、タウンバスの回数券を取り扱っている店舗などで配布しています。

(8) グループインタビューの実施

(資料10)

とよやまタウンバスを含めたバス利用者以外の住民の、公共交通に対する意見や要望を聞くために、グループインタビューを行いました。今回は、高齢者や女性、子どもなどの、いわゆる「交通弱者」を対象に行いました。

「普段の交通移動について」、「タウンバスの利用について」、「タウンバスへの要望について」、「公共交通一般について」などを主に問いかけを行いながら、話していただきました。

- ・調査回数 全10回
- ・調査対象 高齢者：保健センター、社会教育センターなど的高齢者対象事業参加者
女性：保健センター、社会教育センターなどの女性対象事業参加者
子ども：豊山中学校生徒（1年生、2年生、3年生）
- ・調査方法 グループインタビュー

①高齢者

(移動一般)

- ・普段は徒歩や自転車で移動しているが、雨の日の移動が悩みになっています。

(タウンバス一般について)

- ・北ルートは小牧市民病院、南ルートは名古屋栄を利用しています。
- ・高齢で足が悪い場合、バス停に出るのも苦痛なので、路線上で自由に（バス停以外でも）乗車できるようにという要望がありました。

(ダイヤについて)

- ・休日の朝、夜の増便の要望が目立ちました。
- ・北ルートについては、平日の午後便の要望もありました。

(バス停について)

- ・町内ではエアポートウォークへの設置要望が目立ちました。その他、新田、西之町への設置要望がありました。
- ・町外では名古屋駅、小牧市の舟橋クリニック前（通院目的）、小牧市小針付近（飲食店目的）への設置の要望がありました。
- ・タウンバスは南北の運行が中心であるので、東西の路線もあればよいという要望がありました。
- ・小牧市民病院の玄関前バス停は降車専用ですが、乗車もできないかという要望がありました。
- ・夜になるとバス停の文字が見えにくいので、照明をつける、文字を大きくするなどの工夫を求める要望がありました。

(料金について)

- ・料金についての要望は多くありませんでした。

(直行バスについて)

- ・バス停の増加を求める声が複数ありました。豊場交差点付近への設置の要望がありました。

②女性

(移動一般)

- ・若年層は公共交通への関心が低く、もっぱら自家用車を利用しています。
- ・年齢が上がるにしたがって、公共交通への関心が高まります。

(タウンバス一般について)

- ・若年層の利用は少なく、名古屋市の栄への利用が稀にある程度です。
- ・乳幼児をもつ母親は、ベビーカーをバスへ乗せることのためらいがあるようです。ベビーカーでも気軽に乗れるようなイメージ作り、運転手の接遇を求めています。

(バス停について)

- ・町内については、神戸、四ツ塚（イチロー展示ルーム アイファイン周辺）への設置要望がありました。
- ・町外については、名古屋駅、セントレア、名古屋市北区のまき小児科付近への設置要望がありました。

(料金について)

- ・市バスが名古屋まで200円であるので、それに比べるとタウンバスは高めであるという印象が若年層にあります。

(ダイヤについて)

- ・休日の最終便を遅くしてほしいという要望が複数あります。

(直行バスについて)

- ・直行バスに対する関心が高く、所要時間の短さ、名古屋駅に乗り入れしていることが評価されています。
- ・料金については、高いという印象があり、乗り控えにつながっています。
- ・国道41号線の幸田付近（豊場交差点北）に、バス停を設置する要望がありました。

③子ども（中学校1年生～3年生）

(移動一般について)

- ・移動の中心は徒歩もしくは自転車であり、日常的に公共交通を利用している傾向は習い事や通院などの特殊な場合をのぞいて見られません。
- ・3年生になると、高校進学後の通学に対する意識が芽生えるため、公共交通に対する関心もやや高まります。

(タウンバス一般について)

- ・名古屋の栄方面へ行くための利用が散見されますが、その他に日常的に利用している様子はありません。

(料金について)

- ・「バスの料金＝200円」というイメージがあり、栄まで往復で1,000円かかるタウンバスは高いという印象があります。

- ・高齢者優遇パスや、定期券が利用者増に結びつくのではという意見がありました。

(バス停について)

- ・町内については、幸田への設置要望がありました。
- ・町外については、春日井市、大曾根、西春、味美などの要望がありました。

(ダイヤについて)

- ・休日に本数が少ないという印象をもたれています。